



京都橘大学



安全、安心な学生生活のために

皆さんの学びや自主的な活動を守るために、一人ひとりの協力と行動の変化が必要不可欠です。

以下の内容を実践し、皆さん自身、周りの方、そして地域を感染拡大から守りましょう。

1. 一人ひとりの基本的な感染対策

(1) マスクの着用

- 屋内外問わずマスクを着用する。 ※熱中症等の危険がある場合はマスクを外す。

(2) 手洗い

- ハンドソープを使用し、授業前後、食事前後などこまめに正しい手洗いを行う

正しい手の洗い方

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのばすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

(3) 換気 ※エアコン使用時においても行う。

- 気候上可能な限り、常時、換気を行う。
- 困難な場合は、30分に1回以上、数分間程度、2方向の窓を同時に全開する。
- 窓がない場合は、常時入り口を開け、換気扇を用いる。

(4) 身体的距離の確保

- 人との間隔をできるだけ2メートル（最低1メートル）空ける。
- 会話をするときには可能な限り真正面を避ける。

2. 周りの人に感染させないために

(1) 「十分な睡眠」、「適度な運動」および「バランスの取れた食事」を心がける。

(2) 発熱等の風邪の症状がある場合には、自宅休養を徹底する。

(3) 登校時は必ず優心館1階から入構し、体温チェックを受ける。

(4) 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」等を積極的に利用する。

または行動履歴を自分で記録する。

(5) 公共交通機関利用時では会話を控える。

3. 大学での感染対策

授業（教室）での感染対策

- マスク着用
- 常時換気
- 指定された席に座る（身体的距離の確保）
- 授業前後の手洗い
- 使用した備品、机、いすの消毒
- 向かい合っでの発声を可能な限り避ける

図書館、自習時における感染対策

- 利用前後には手を洗う
- 滞在時間が短くなる工夫を行う
- 必要な用事が済めば帰宅する
- 使用不可席には座らない（対面を避け、距離をとる）
- 並ぶときは間隔をあけて並ぶ

昼食時の感染対策

- 食堂、〇〇教室以外は飲食不可
- 並ぶときは間隔を開ける
- 食事が終わったらすみやかに食器を返す
- 利用前後に手を洗う
- 使用不可席には座らない（対面を避け、距離をとる）
- 食後はすみやかにマスクをつける

課外活動での感染対策

- 「活動計画書」を作成し活動許可を得る（オンライン等の利用を推奨します）
- 活動日3日前までに名簿等を学生支援課に提出する
- 体調管理（体調不良の場合は参加しない）
- 部室入室は更衣・物品の搬出入のみ
- 歩く・走る場合は並走または斜め後方
- 活動前後の手洗い
- 常時換気
- 大声での会話はしない
- 用具や物品の共用をできるだけ避ける
- マスク着用
- 使用した備品、机、いすの消毒

生活一般での感染対策

- 大人数での会食や宴会・飲み会を避ける
- 大声での会話や回し飲みはしないこと。
- 高齢者や基礎疾患のある人などに会う場合は、特に慎重に行動する
- 2時間でお開きとし、深夜は控える
- ガイドラインを遵守していない店舗の利用を控える

4. 差別や偏見をもたらす情報に注意

感染者およびその家族等への差別・偏見・誹謗中傷などはあってはなりません。

この感染症については、未知のウイルスという見えない恐怖から多くの方が不安に陥っています。そこに乗じるかの如く、SNSなどで他者を中傷する言動も見られます。私たちが闘っているのは感染症そのものです。情報については、それを受ける時も発する時も、一旦立ち止まりよく考えて対応することが大切です。今一度、自身が今何をしようとしているかを考え、その行為の社会的影響を考えて行動しましょう。